

## 1. 居住環境の調整にかかわる研究

### (1) 大学での研究とは？

「研究」と聞くと、どのようなイメージを持つだろうか？どのような印象を持つだろうか？

→さらに、そのイメージを細かく分けるとどうなるであろうか？

→→自分で思いついたものを書き出してみよう！

※皆さんは、3年後に（4年生なると）、どんなテーマの研究に取り組んでみたいだろうか？

→今の時点での考えで良いので、自分なりの考えを書いてみよう！

## （2）研究の方法

- 居住環境の \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_
    - 道具や実験装置が必要
    - ある程度は経験の世界
    - 何事も実態把握から、困った時には、 \_\_\_\_\_ に戻る
    - 現状把握をして、 \_\_\_\_\_ を見いだす
  
  - \_\_\_\_\_ の構築
    - 頭と鉛筆と紙があればできる（極端に言ってしまえば）
    - \_\_\_\_\_ 学と \_\_\_\_\_ 学を用いる
    - 理学的な \_\_\_\_\_ 性と工学的な \_\_\_\_\_ 性の兼ね合いが問題
  
  - \_\_\_\_\_ による検討
    - 主として、コンピューターを用いる
    - コンピューターの発達に伴い、シミュレーションの分野が急激に発達
    - CFD (Computational Fluid Dynamics, 数値流体力学)
    - 特に \_\_\_\_\_ 手段を提案するとき有効
- ◇ それぞれの方法は独立して存在しているわけではなく、相互に影響を及ぼしあって、研究が進んでいく
- ◇ ◇ 居住環境の調整に関する研究だけではなく、居住環境全体に関する研究、さらに環境資源学に関する研究でも、食健康科学に関する研究でも同じではなかろうか？（研究する対象、使用する機器、関連する理論、もしくは、用いるモデルやプログラムに違いはあるだろうが。）
- 
- ## （3）研究のテーマの時間的な変化
- ◇ 主に研究対象とする領域が時と共に変化することもある
  - ◇ ◇ 長年同じ研究テーマを追い続ける方が良いという考え方もあれば、その時の様々な状況に応じて柔軟に変更した方が良いという考え方もある
  - ◇ ◇ ある一つの研究テーマや研究領域に集中する方が良いという考え方もあれば、複数の研究テーマや研究領域を同時進行させる方が良いという考え方もある

## 2. これまでの研究テーマ

→詳細は、辻原の担当する地域環境調整工学研究室のホームページや辻原研究室のブログを参照。

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/>

<http://ameblo.jp/m-tsuji/>（「居住環境学科な日々」）

卒業生が過去 10 年間に取り組んだ卒業研究（卒業論文，卒業設計）のテーマ（それより前の卒業研究テーマは，上記のホームページを参照。また，下記の卒業研究のテーマ以外に，辻原が研究を進めているテーマもあり。）

▽2009 年度（研究室 10 期生）の学生が取り組んだ卒業研究のテーマ（助手・安浪さん）

- 1) KING OF KNOTS（末廣君卒業設計）【卒業設計】
- 2) 御所浦嵐口地区における温熱環境の調査と自然エネルギーを利用した居住空間の提案（森川さん・吉見さん卒業研究）【環境調整】

▽2010 年度（研究室 11 期生）の学生が取り組んだ卒業研究のテーマ（嘱託職員・栗崎さん）

- 1) 旧三菱重工業熊本航空機製作所が熊本市東部の発展に与えた影響（麻田さん卒業研究）【歴史】
- 2) 熊本市河原町旧繊維問屋街における人々のオーラルヒストリー（浦口さん卒業研究）【その他】
- 3) 小国町における地熱を利用した共同施設と住宅設備に関する研究（高野さん卒業研究）【環境調整】
- 4) 局地風が集落に及ぼす影響と集落に住む人々の防風の工夫に関する研究（仲さん卒業研究）【環境調整】
- 5) 美術館の運営と利用実態の関係-熊本県内の美術館を対象として-（花園さん卒業研究）【その他】
- 6) 楽しさが廃墟を呑み込む（井海君卒業設計，近代建築別冊卒業制作 2011 に出品）【卒業設計】
- 7) 寄り添う都市（陳内さん卒業設計）【卒業設計】
- 8) 育つ小学校（宮嶋さん卒業設計）【卒業設計】

▽2011 年度（研究室 12 期生）の学生が取り組んだ卒業研究のテーマ（助手・橋内さん）

- 1) 異なる交通機関への乗り換えが生じる駅前空間における人の行動に関する研究（明石さん卒業研究）【その他】
- 2) 熊本と札幌における小学児童の温熱的不快・想像温度・授業への集中度合い（秋成さん卒業

- 研究，札幌市立大学デザイン学部齊藤先生との共同研究)【環境調整】
- 3) 日本町中学校を対象としたワークショップの開催と記録の作成-廃校になる学校をどう終わらせるか- (田山地さん卒業研究)【歴史】
  - 4) 阿蘇外輪山の内側に位置する神社の配置と人々の暮らしの関係 (原田さん卒業研究)【その他】
  - 5) 集合住宅のこれから (尾崎さん卒業設計)【卒業設計】
  - 6) 川と人とまち (横田さん卒業設計, DA5 展 2012 田中賞受賞)【卒業設計】
  - 7) 水環境からみた熊本地域の空間形成に関する研究 (本田さん研究テーマ)【その他】

▽2012 年度 (研究室 13 期生) の学生が取り組んだ卒業研究のテーマ (助手・橋内さん/嘱託職員・鬼塚さん)

- 1) 水環境の変容からみた熊本市の都市形成に関する研究 (本田さん特別研究 (修士論文))【その他】
- 2) 熊本市内に位置する旧社格のある神社における石燈籠配置と特徴 (飯島君卒業研究)【歴史】
- 3) 天草の偉人赤崎伝三郎が建てた和洋折衷の自邸と関連する建物 (岩元さん卒業研究)【歴史】
- 4) 熊本県における製氷技術と設備の変遷 (上田君卒業研究)【歴史】
- 5) 小学児童と教員の温熱的不快と想像温度-熊本，東京ならびに札幌- (緒方さん卒業研究, 札幌市立大学デザイン学部齊藤先生との共同研究)【環境調整】
- 6) 九州日日新聞にみる JR 肥薩線の建設の様子 (西村さん卒業研究)【歴史】

▽2013 年度 (研究室 14 期生) の学生が取り組んだ卒業研究のテーマ (助手・本田さん)

- 1) + steps (本田さん卒業設計)【卒業設計】
- 2) 地域の拠点病院周辺における住民の環境音に対する意識 (宮川君卒業論文)【環境調整】
- 3) 過去の冷房利用状況の違いが温熱環境の捉え方に与える影響 (元永君卒業研究)【環境調整】
- 4) 水路を観る (矢羽田さん卒業設計)【卒業設計】

▽2014 年度 (研究室 15 期生) の学生が取り組んだ卒業研究のテーマ (嘱託職員・大塚さん)

- 1) 明治期における肥薩線建設に関わった技術者と実習生 (大塚さん卒業論文)【歴史】
- 2) 電停付近における利用客の行動特性 (佐藤さん卒業論文)【その他】
- 3) 小学児童の温熱環境に対する認識と調整-熊本と札幌を対象として- (谷川さん卒業論文, 学科長賞受賞)【環境調整】
- 4) 宇土市域で共存する轟泉水道と上水道の関係-給水区域の変遷に着目して- (福田さん卒業論文)【歴史】
- 5) 天草市本渡地区を対象とした近代建築物の悉皆調査の試みとデータベースの作成 (柳瀬さん)

卒業論文，日本都市計画学会九州長賞受賞）【歴史】

- 6) 空き店舗対策にみる商店街の問題点-大分市中心部商店街関係者への聞き取り調査から-（**幸さん卒業論文**）【その他】
- 7) 日台フィールド調査の実施と参加した学生の意識の変化 — 台湾花蓮市に残る日本統治時代の建築物を対象として —（**渡邊さん卒業論文**）【歴史】

▽2015年度（研究室16期生）の学生が取り組んだ卒業研究のテーマ（嘱託職員・大塚さん）

- 1) 教室内での児童の暑熱不快感、環境調整行動ならびにライフスタイル-熊本、東京、札幌を対象として-（**黒田さん卒業論文**）【環境調整】
- 2) 冬季の南向き教室と北向き教室における室内の温熱環境の相違（**楊君卒業論文**）【環境調整】

▽2016年度（研究室17期生）の学生が取り組んだ卒業研究のテーマ（嘱託職員・大塚さん／助手・岡本さん）

- 1) 地震時における住居内の音環境に関する心理評価（**濱田君卒業論文**）【環境調整】

▽2017年度（研究室18期生）の学生が取り組んだ卒業研究のテーマ（助手・岡本さん）

- 1) エドワード・S・モース『日本その日その日』における「場所」の捉え方に関する研究（**奥村さん卒業論文**）【その他】
- 2) 天草市御領地区の石垣の分布ならびに御領石と人との関わり（**木野さん・手嶋さん卒業論文**）【歴史】
- 3) 大学キャンパス内における音環境の構成要素と学生の音に対する意識（**清田さん卒業論文**）【環境調整】
- 4) 台湾花蓮市の産業遺産に対する魅力の捉え方の違い-管理者、訪問者、SNS画像を比較して-（**白石君卒業論文**）【その他】
- 5) 熊本と札幌の大学生の夏季の温熱環境に対する許容範囲の違い（**宮腰君卒業論文**）【環境調整】
- 6) 住宅用太陽光発電設備の廃棄スキーム構築（**平川さん研究テーマ**）【環境調整】

▽2018年度（研究室19期生）の学生が取り組んだ卒業研究のテーマ（助手・岡本さん）

- 1) 天草アーカイブズ所蔵の行政資料を用いた旧牛深市の中央土地区画整理事業の把握（**川嶋さん卒業論文**，日本都市計画学会九州長賞受賞）【歴史】
- 2) 新たな環境地図の提案～江津湖公園を事例に～（**中村さん卒業論文**）【環境調整】
- 3) 天草地域を対象とする近現代の地図の網羅的な収集と地域景観の変遷の解明』（**西牟禮さん卒業論文**）【歴史】

4) 温熱環境の違いが音環境評価に及ぼす影響～アンケート調査と人工気候室実験の結果から～』（松本君卒業論文）【環境調整】

→実は、これまで皆さんに話してきた「居住環境の調整に係わる研究」（上記のテーマの後ろに【環境調整】と書かれた研究）以外に、「居住環境の歴史に関する研究」（上記のテーマの後ろに【歴史】と書かれた研究）も行っている（こちらの比重もかなり高い。）。また、それ以外のものもある（上記のテーマの後ろに【その他】と書かれた研究）。

→→幾つかの専門を持つ強みもあるのでは？もちろん、難点もあるが。

◇◇ スライド

- 1) 熊本県天草市牛深町の漁村での微気象に関する実測調査と生活環境に関する聞き取り調査の様子と研究成果の一部
- 2) 研究室の学生達と参加した『日韓国際都市・建築デザインワークショップ 2012』の様子
- 3) 研究室の学生達と参加した『台日連合田野調査』の様子
- 4) 台湾奨助金を頂いて台湾に滞在して行った『製糖業における社宅街の建設が台湾の都市開発に与えた影響』に関する研究の様子
- 5) 2011年度卒業生の卒業設計作品とこれまでの熊本合同卒業設計展の様子

### 3. レポート課題

以下の課題についてのレポートを、**A4判の大きさ**で作成して下さい。

書式は自由です。ただし、学部名、学科名、学籍番号、名前などは明記して下さい。

また、2枚以上になる場合には、ステープラーなどで止めて下さい（A4判の用紙を縦置きにして、横書きにした場合は、左上を止める。この配付資料を参照。）。バラバラのまま提出した場合は、本人のものと判明する部分だけで採点するので注意しましょう。

例年、課題に答えていないレポート、もしくは課題の一部に対してしか答えていないレポートが見受けられます。課題文を良く読んで、**読み手にわかりやすいレポート**、**読み手を納得させることができるようなレポート**の作成を心がけて下さい。

なお、レポートを書く際に何かを参考にした場合は、出典を必ず明記して下さい。出典を明記せずに引用などをした場合は、例えばインターネット上のホームページからの引用であっても、大幅に減点するので注意しましょう。

- 1) あなたが日常生活の中で滞在もしくは通過するところ、またはこれまでに滞在もしくは通過したことがあるところのうち、最も良い環境だと思われるところと最も悪い環境だと思われるところを挙げて下さい。まず、それらがどこかを説明してください（場所を説明してください）。次に、自分で写真を撮るか、絵を描くか、スケッチを描くかなどして、目で見てわかりやすいようにして、それらがどんな場所なのかを説明してください。

さらに、どうしてそのように思うのか、講義の内容と関連づけて、理由を示しながら自分の考えを述べてください。最後に、悪い環境だと考えたところを良い環境にするにはどうすれば良いと思うか、理由を示しながら自分の考えを述べてください。

- 2) あなたの周りで見つけることができるような、居住環境を上手に調整するためになされている工夫を2つ挙げて下さい。まず、その工夫の名前や場所がわかる場合は名前や場所を書いてください。次に、自分で写真を撮るか、絵を描くか、スケッチを描くかなどして、目で見てわかりやすいようにして示してください（インターネット上の画像を貼り付けることは認めません）。

さらに、講義の内容と関連づけて、それがどのような工夫で、どのような効果を挙げているのか、をわかりやすく説明してください。最後に、それらの工夫に対してどのように評価すればよいのか（「評価はどうか」と言う観点からでも、「評価の方法はどうか」と言う観点からでも良い。）、理由を示しながら自分の考えを述べてください。

- 3) 授業の感想、意見などを自由に書いてください。

▽▽締め切り

06月07日（金）13:00

▽▽レポートの提出先・講義を通しての質問

レポートの提出は、下記の担当者の所まで。その他質問なども、以下の担当者まで。

担当者にレポートを直接手渡さないで扉にはるなどした場合は、紛失しても責任はもてません。また、やむを得ない事情によりレポートの提出が遅れる場合は、できるかぎり事前に（事前に連絡できなかつた場合も、できる限り早めに）連絡して下さい。事情によっては、考慮します。

・教授・辻原万規彦

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）旧棟4階南西角（407）

電話：096-321-6706（直通）、もしくは096-383-2929（内線492）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

・研究室助手・岡本孝美

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）3階南西角・田中研究室／4階中央・岡本助手室

電話：096-383-2929（内線482（助手室）／内線475（田中研究室））

e-mail：okamoto@pu-kumamoto.ac.jp

※参考 URL

講義で配付した資料は、下記のホームページからダウンロード可。

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/kougi.html/tsukuru.html/kyojyutsukuru.html>